

Javaの特徴

1.マルチプラットフォーム

Javaにはネイティブコードへの変換の間にJVMが存在しています。
JVMがあることで、以下のように変わります。

(通常言語)
通常コード ネイティブコード
(Java)
通常コード JVM ネイティブコード

JVMがあるおかげで、どんなプラットフォームでも対応して、
ネイティブコードに変換してくれます。

これが **マルチプラットフォーム** です。

【プラットフォーム】
OS、設定など。つまり環境という意味。

【ネイティブコード】
マシン語。人間じゃ読み取り不可能。

2.オブジェクト指向言語

オブジェクト指向によって、様々なことが便利になります！
例えば、処理、部品の再利用化。
クラス継承することで、処理を書く量を減らしたりなど。

3.マルチスレッド処理

スレッドが多重に存在しても、対応できます。
同期を取らなければいけない部分も、それ用の部品が既に用意されています。

【スレッド】
処理の開始から終了までの流れ。